

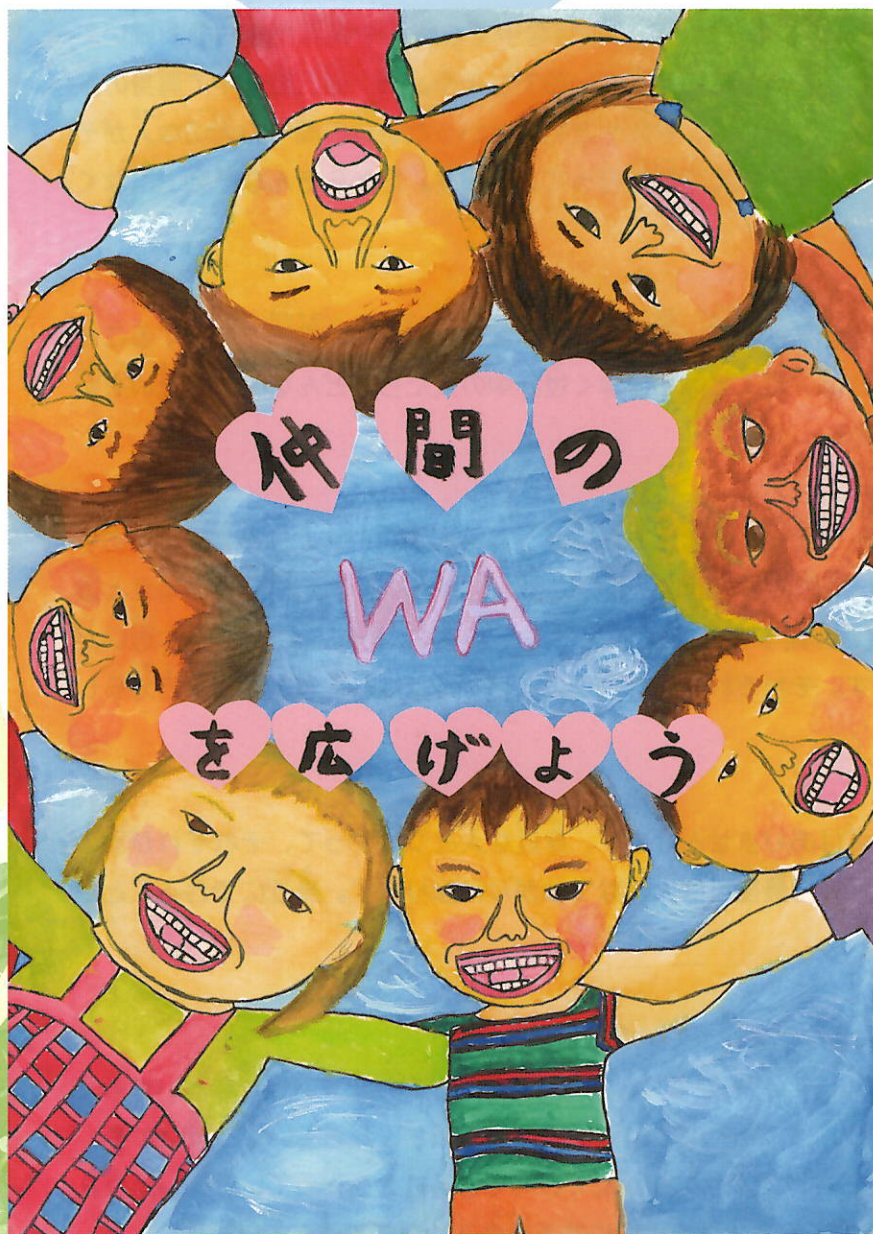
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

熊本県人権子ども集会

「熊本県人権教育・啓発基本計画」の趣旨を踏まえ、児童生徒を主体とした活動を通して、全ての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指す。

テーマ

輪 ～伝える、認める、つながる～



「心のきずなを深める」ためのポスターから

●実施方法

オンライン

(オンデマンドによる配信)

●配信期間

令和6年(2024年)

10月24日(木)～

令和7年(2025年)

1月31日(金)

●場所 各学校等

●配信内容

オープニング

- (1) 開会
- (2) 子ども実行委員長あいさつ
- (3) 体験・活動報告
県内の小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の児童生徒の皆さんによる体験・活動報告
- (4) 集会メッセージ発表
- (5) 閉会

エンディング

熊本県人権啓発キャラクター
「コッコロ」



ぶらくさべつ さべつ
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

くまもとけんじんけん こ しゅうかい 熊本県人権子ども集会メッセージ

熊本県人権子ども集会メッセージは、差別をなくし、一人一人の個性、思いを大切に、人と人とが輪になり、より幸せな社会を目指すために作りました。

集会テーマにある「輪～伝える、認める、つながる～」の意味を皆さんと考えてみましょう。

皆さんは、話したいことを何でも話することができますか。自分を知ってもらうために自己表現をすることができますか。相手の立場に立って考えることができますか。相手に対して、無意識のうちに話しかけづらさを感じて、話しかけることを遠慮してしまうことはありませんか。詳しい話も聞かず、思い込みだけで相手にきつく言ったり、攻撃したりしていることはありませんか。相手の心に寄り添っていますか。偏見を持っていませんか。自分らしく生きることができますか。

世界的に多様性という考えが広がっています。しかし、そのような中でも差別や偏見が今もなお続いています。差別や偏見がある社会では、常に犠牲になっている人がいるでしょう。狭い選択肢の中で肩身の狭い思いや辛い思いをしている人もいます。そして、家族や友だちといった自分の周りの大切な人がそのような立場になるかもしれない、自分自身がそうなる可能性だってあります。だからそんな社会ではなく、より幸せな社会を目指して、

伝える

自分の思いを形にして発信することです。例えば、声、SNS、手話などたくさんの方で発信することができます。また、自分の思いを発信できれば、個人だけではなく世界中の人たちとどんな時でも思いを伝え合い、交流することができるかもしれません。

認める

今、世界では多様性を認め合う「ダイバーシティ」の考え方が広がっています。人はそれぞれ違いがあります。多様性を認めることとは、相手の思いや個性を理解し、互いに尊重し合うことです。「自分の考えと違う」「なんかおかしいから」と言って、否定、非難するのではなく、「こんな考えがあるんだ」「こんな思いがあるんだ」と互いを認め合うことが大切です。それぞれが認め合うことができれば、きっと誰もが自分らしく生きられる社会になると思います。

つながる

最初は離れている人と無理につながる必要はありません。まず、身近な人とつながって、それぞれが別の人とつながることで最初は小さかったつながりも最後には大きなつながりになります。身近にできることから行動し、つながっていきましょう。

そして、みんなで『輪』を作しましょう。

伝えて、認めて、つながって、みんなで大きな輪を作っていきます。

一人一人違って当たり前です。人それぞれに、気持ちや考え、好み、価値観があります。様々な思いや考えを相手に伝え、伝えられた人もその思いを認め、つながっていくことで幸せな輪が広がっていくと思います。

自分もみんなも大切な「ひと」。心と心をつなげて幸せな輪がたくさんできる社会を作っていきます。

そして、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権を大切にすることを私たちが作っていきます。

れいわ おんど おんど くまもとけんじんけん こ しゅうかい こ じつこう いんいちどう
令和6年度（2024年度）熊本県人権子ども集会子ども実行委員一同